

令和５年度 第４回大和市下水道運営審議会会議録（抜粋）

【開催日時】 令和５年１２月２６日（火） 午後２時００分～午後４時１５分

【開催場所】 市役所５階 第５会議室

【出席状況】 委員９名（欠席２名）：

石田裕会長、扇原博委員、橋本幸生委員、関水秀樹委員、
塩沢雍子委員、小野佐枝子委員、長谷川幸江委員、大谷勝也委員、
袴田史委員

市側６名：

環境施設農政部長、下水道経営課長、下水道・河川施設課長、水質管
理センター所長 ほか担当職員２名

【公開・非公開の状況】 ■公開 □非公開 □一部非公開

【傍聴人】 ０名

【審議又は検討の経過及び結果】

●会議次第：１ 開会

２ 議題

（１）下水道使用料の改定について

３ その他

●主な質疑内容の要約：

２ 議題

（１）下水道使用料の改定について

（委員）

① 質疑：使用料を引き上げる前に経費の削減を行うべきと考える。

（事務局）

① 答弁：これまでも浄化センターにおける包括的民間委託や設備の延命化などを行うことにより、経費削減の努力は行っており、今後も引き続き実施していきませんが、それだけでは使用料の不足を補えないため改定を行います。

（委員）

② 質疑：改定率が高く市民負担が大きすぎるのでは。

（事務局）

② 答弁：新型コロナウイルスの感染拡大により、改定の間隔が長くなったことや、物価の上昇などから大きな改定率となってしまいました。今後、下水道使用料の減少が見込まれる一方で、老朽化した設備の改築更新を進めることなどにより、汚水処理費が増加するため、今回の改定後も定期的な改定が必要と見込まれます。今回、大きな改定率となりますが、本市の一般会計の財政も厳しい状況にあることから、先送りせずに行う必要があります。

(委員)

- ③ 質疑：一度に経費回収率を 100%にしなくてもよいのでは。

(事務局)

- ③ 答弁：平成 30 年度の前回改定は、次回以降の改定において、経費回収率 100%を目指すこととして段階的な改定を行っております。今回の改定により経費回収率を 100%とすることは、下水道を使用する人が本来負担すべき適正な負担水準にするものです。本市の財政も厳しい状況にあることから、改定により法で定める独立採算による健全経営を目指します。

(委員)

- ④ 質疑：改定を検討していることとその内容について市民へ周知しているのか。

(事務局)

- ④ 答弁：広報やまと 12月号にて、審議会へ改定について諮問を行ったことを掲載し、改定内容等の資料を市ホームページで公開していることを周知しています。

(委員)

- ⑤ 質疑：基本使用料と従量使用料の改定率を一律とした理由はなにか。

(事務局)

- ⑤ 答弁：使用水量によって負担にバラつきがないよう、使用者全員が同じ改定率とするため、一律としています。

(委員)

- ⑥ 質疑：現在、検討を進めている汚泥の有効利用について、改定の試算に組み込まれているのか。

(事務局)

- ⑥ 答弁：諮問した改定率の算出は令和 5 年 8 月までに行ったものですので、物価上昇率も含めて精査し、再算定したものを次回会議に提出します。